

建築文化週間2008シンポジウム 「歴史文化を活かしたまちづくり」

中国地方のまちづくりを考える上で、歴史文化は大きな地域資源です。全国的にみても「中つ国」として長い歴史と各地域の個性を蓄積してきた中国地方の町々のまちづくりのあり方を展望しつつ、今後の歴史文化資源の活用の可能性について、さまざまな視点で考えていきます。

日時：平成20年10月26日（日） 13:00～17:00

会場：広島国際大学 広島キャンパス国際教育センター
（広島市中区幟町1-5 TEL082-211-5101）

定員：150人（先着順。できる限り事前に申込みください。）

参加費：無料

申込方法：FAXまたはe-mailで、氏名・所属・住所・電話番号を明記のうえ、
10月19日（日）までに下記あてにお申込ください（様式自由）。

申込先：〒730-0041 広島市中区小町4-33 中国電力3号館5階（社）中国地方総合研究センター 宮本 茂
FAX：082-245-7629 TEL：082-245-7900（代表） e-mail：miyamoto@crrc.or.jp

主催：日本建築学会中国支部

企画：日本建築学会中国支部建築文化週間シンポジウム実行委員会

後援：広島県、広島市、中国新聞社、中国放送、NHK広島放送局、（社）都市計画学会中国四国支部、（社）広島県建築士会、（社）土木学会中国支部

【プログラム（予定）】

第1部 基調講演

- 講演1 「地域個性や観光資源、生活環境としての歴史的町並みの可能性（仮）」
松場登美氏（観光カリスマ、（株）石見銀山生活文化研究所取締役所長）
- 講演2 「地域連携の視点からみた歴史文化を活かしたまちづくり」
佐々木卓也氏（ひろしま歴史街道トリップ実行委員会・座長）

第2部 事例報告

- 事例報告1 「歴史文化を活かしたまちづくりへの支援とこれまでの取り組み事例（仮）」
国土交通省中国地方整備局建政部
都市調整官 藤岡啓太郎氏
- 事例報告2 山口県萩市の事例
観光と生活との調和を目指したまちづくり（仮）
萩市歴史まちづくり部まちなみ対策課景観係 主任専門職 大槻洋二氏
- 事例報告3 広島県宮島の事例
「観光と生活の調和を活かしたまちづくり（仮）」
福島俊を氏（古民家再生研究所主宰）

意見交換・全体総括